2025 年 5 月 15 日更新

JSMM / UIAA / ICAR / ISMM

DIPLOMA IN MOUNTAIN MEDICINE

2025 年度(2025-2026)

募 集 要 項

— 主 催 —

一般社団法人　日本登山医学会
Japan Society of Mountain Medicine (JSMM)

I. 概要

日本登山医学会の 2025-26 年 Diploma in Mountain Medicine（DiMM-JP）は、UIAA Medcom（国際山岳連盟医療部会）・ISMM（国際登山医学会）・ICAR（国際山岳救助委員会）の 4 年ごとの認証を受けています。山岳地帯で発生しうる疾病および外傷についての理論と対応実践について学び、登山医学の臨床および研究を実践出来る医師、看護師の養成を目的として実施するプログラムです。

このプログラムを修了し検定に合格した受講生には、Diploma in Mountain Medicineを授与します。通常、このプログラムはエントリーから5年以内に修了することが義務づけられ、5年を超えた場合には受講済みであっても受講から5年を過ぎた項目については再履修を求めます。

プログラムは、DiMM運営委員会またはUIAA/ISMM/ICARのレギュレーション改訂等によって改訂されます。その場合、旧プログラムでエントリーした受講生は旧プログラムに沿うこととしますが、エントリーから5年を過ぎた項目の再履修については原則として改定後のプログラムに従うものとします。

DiMM-JP資格は5年ごとの更新が必要です（2021年より）。資格認定（2度目以降の更新の場合には前回の更新）時点の資格更新認定基準にしたがい、更新申請と審査を経て更新が行われます。

2023年度は暖冬の影響により積雪や氷瀑の状態が悪く、質の高い演習・検定を行うことができなかったため、2024年度は2025年3月を年度終わりとせず、2025年の5月を年度終わりとしました。今後もプログラムの時期や内容が変動する可能性があることをご承知おきください。

II. 受講資格

①医療関連資格（国家資格）

a. 初期臨床研修を修了している医師（臨床研修制度開始前資格取得者では単に「医師」）

b. 正看護師

c. 救急救命士

②日本登山医学会会員であり、学会会費を滞納していないこと

（入会手続きについては日本登山医学会のインターネットサイトをご覧下さい）

③ロッククライミング、沢登り、雪山、アイスクライミングの初級者コースを安全に登下降できること（後述の受講に必要な最低限の登山技術に習熟していること）

プログラム概要

［講習・検定番号・名称］	［時期・場所（変更の可能性があります）］	
A1. 日本登山医学会学術集会	2025/6/7-8	石巻専修大学（宮城）
B1. 無雪期山岳医療理論（夏山座学）	オンデマンドにて視聴	
C1. 夏山山岳技術基礎演習（夏山演習）	2025/7/5-6	国立登山研修所（立山）
B2. 山岳外傷学	2025/11/15-16	筑波メディカルセンター（つくば）
C2. 夏山登山技術検定（夏山検定）	2025/10/11-13	国立登山研修所（立山）
B3. 厳冬期山岳医療理論（冬山座学）	2025/11 月を予定	e-Learning（Zoom 配信）
C3. 冬山救助技術基礎演習（冬山演習）	2026/未定	未定
B4. 山岳医療理論（一般座学）	オンデマンドにて視聴	
C4. 冬山登山技術検定（冬山検定）	2026/未定	未定

- 上記すべての講習（座学・演習・検定）を修了（合格）する必要があります（合計120時間）
- 詳細はp.5-7の「2025年度（2025-2026）プログラム」を参照のこと
- 国立登山研修所の改修工事や近年の積雪状況の変化の影響により、C1,2,3,4の検定場所や時期を検討中です（受講登録者には詳細が決まり次第、通知いたします）
- C3およびC4の受講はC1およびC2合格が必須
- 各講習で課される事後課題を期限までに提出すること（採点結果で合否判定、未提出は不合格）
- C1～C4では実技が主たる採点対象
- 合否連絡後の異議申し立てはDiMM運営委員会に行うことができます

Ⅳ. 受講登録手続きについて

【受講登録受付期間】2025 年 4 月 21 日（月）～6 月 11 日（水）

【受講登録方法】http://www.jsmmed.org/dimmjpn_entry.html にて、必要事項を入力（受講仮登録）

【受講登録料】10,000 円：受講資格確認後にメールにて振込先銀行口座をお知らせします

【各講習の募集】各講習の都度、受講登録者へメーリングリストでご案内します
各募集要項に従って応募し、受講が承認された場合、速やかに講習料等を納入ください

【山岳保険への加入】C（演習及び検定）の受講では山岳保険（冬山登山、岩登り、アイスクライミング中の遭難・山岳事故も対象となるもの）への加入が必須です

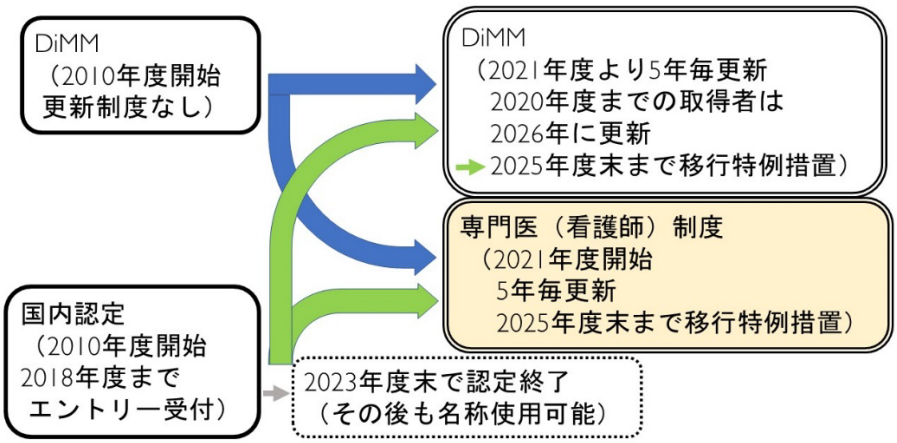
Ⅴ. キャンセリルポリシーおよび受講制限

- 受講登録料について、納入後は原則として返金できません
- 講習の会場の都合および山中での安全上の観点から、人数等を制限する場合があります

・ 受講の可否は各講習の募集締め切り後、登山経験も参考にし、各責任者から連絡します
・ 各講習の受講料は、主催者の都合による開催中止または受講制限のため受講を受け付けない場合以外、いかなる理由があっても返金しません

VI. 移行措置、国内認定山岳医・山岳看護師プログラムについて

・ すでに国内認定山岳医・山岳看護師資格を取得している方は、2025 年度末までの特例措置を活用して、DiMM プログラムないし日本登山医学会専門医（看護師）制度のいずれかに移行されることをお勧めします（2025 年度末までの移行特例措置）。DiMM への移行に関しては夏山検定、冬山検定およびビーコン検定再受講と DiMM 基準でのそれぞれの合格が必要となります（11 ページ参照）。



VII. DiMM 資格認定について

・ A1、B1～B4、C1～C4 の全てに合格した後に、DiMM 運営委員会が内容確認して資格認定を行う
・ 受講期間中に下記の①＋②または③を受講または更新し、受講証の写しを提出してください
  ① Basic Life Support; **BLS**
  ② Advanced Cardiovascular Life Support; **ACLS**
  ③ Immediate Cardiac Life Support; **ICLS**
・ 学術集会の参加確認のため、DiMM 認定に際し参加証を提出してください

VIII. DiMM 資格更新制度

・ Diploma in Mountain Medicine 取得後 5 年ごとに資格更新が必要
（詳細は登山医学会ホームページから、DiMM 資格更新制度案内の PDF を参照）

2025 年度(2025-2026)プログラム

講習・検定名	2023 DiMM Regulation (Minimum Time Requirement)	FY2025 DiMM 日本プログラム (DiMM-JP)	時間	累積時間
A1 学術集会 (6時間)	Performing medical research (1) *1	医学研究の実行	6	6
B1 夏山座学 (12 時間)	Altitude and its illnesses (8) *1	高山病の生理学/高山病総論	1	4
		高所における人類学	1	
		低酸素環境体験(低酸素講義含む)	2	
	Exercise physiology (1) *1	運動生理学	1	1
	Nutrition, fluid balance and exhaustion (1) *1	栄養・水分バランスと疲労	1	1
	Submersion and immersion in water (1) *1	水難	1	1
	Heat and solar radiation (1) *1	熱中症・脱水症・日焼け	1	1
	Stress management (1) *1	国内山岳遭難の実態と背景・問題点	1	2
		海外登山の実態・リスク	1	
	Ethics including sports and drug use (1) *4	スポーツと薬物使用・ドーピング	1	1
	Legal aspects (0.5) *1	登山における山岳保険、法律問題	1	1
C1 夏山演習 (14 時間)	Navigation and survival techniques in hostile weather in the mountains (8) *2*3	ナビゲーション技術	8	8
	Altitude and its illnesses (8) *1	高所順応戦略	2	6
	Organized rescue (4) *1*2	組織救助技術実践:演習	4	4
B2 外傷学 (17 時間)	Analgesia in the field (2) *1	疼痛対策・実践麻酔学	2	2
	Effects of pre-existing clinical conditions (4) *1	山の医学:頭頚部疾患	1	1
	Personal FA kit & mountaineering equipment (1) *1	ファーストエイドキットと登山装備	2	2
	Practical traumatology (8) *2	山中の外傷初期対応	5	12
		外傷総論	2	
		整形外科的疾患論	1	
		ワークショップ	4	
C2 夏山検定 (24 時間)	Introduction to improvised rescue techniques (2) *1	救助技術総論	1	2
		セルフレスキュー・衝撃:理論	1	
	Practical demonstration of improvised rescue techniques (4) *3	セルフレスキュー・衝撃:演習	8	9
		即興の救助技術実践:演習	1	

	Information technology in the mountains (1) *2	山中の情報技術	1	1
	Mountaineering techniques in summer and winter (24) *3	夏期登山技術・検定 沢登り	12	12
B3 冬山座学 （10 時間）	Hypothermia (4) *1*3	低体温症1：生理学	1	3
		低体温症2：病態と治療	1	
		低体温症3：事例検討	1	
	Frostbite (2) *1	凍傷：理論	1	1
	Altitude and its illnesses (8) *1	実践的山岳遭難事例検討	4	10
	International mountaineering organizations (0.5) *1	遠征登山	1	1
	Organized rescue (4) *1*2	ヘリコプターレスキュー	1	5
C3 冬山演習 （8 時間）	Hypothermia (4) *1*3	低体温症：ワークショップ	1	4
	Frostbite (2) *1	凍傷：ワークショップ	1	2
	Mountaineering techniques in summer and winter (24) *3	冬季登山技術・演習検定	6	18
B4 一般座学 （15 時間）	Children and mountains (1) *1	山の医学：小児	1	1
	Travel Medicine (2) *1	旅行医学／　国際感染症・ワクチン	2	2
	Infection control and water safety (1) *1*3	感染制御と水の安全、寄生虫	1	1
	Weather (1) *1	気象	1	1
	Death in the Mountains (1) *1	山での死	1	1
	Alpine Sports Accidents (1) *1	クライミング外傷	1	1
	Effects of pre-existing clinical conditions (4) *1	登山者検診ネットワーク	1	4
		山の医学：呼吸器・循環器疾患	1	
		山の医学：糖尿病・代謝疾患・高齢者	1	
	§ Additional topics § Mountain animals *1	山の有害生物：脊椎・無脊椎動物	1	1
	§ Additional topics § Mountain plants *1	山の有害生物：植物	1	1
	§ Additional topics § Chemical gas, Lightning *1	有害ガス・電撃・火山	1	1
	§ Additional topics § Mountaineering for female mountaineers *1	女性・ハンディキャップ	1	1
	§ Additional topics § Current Issue of Mountain Clinic *1	国内の山岳医療の現状とその課題	1	1

C4 冬山検定 （14 時間）	Avalanche risk assessment, companion search, and medical management of victims (4) *1*3 Mountaineering techniques in summer and winter (24) *3	雪崩：理論　ワークショップ 雪崩：ビーコン演習・検定 冬季登山技術・演習検定	4 10	4 28
合計			120	

*1;theory *2;workshop *3;practical *4;discussion
§ Additional topics §　は DiMM-JP のオリジナルプログラム

受講に必要な最低限の登山技術

【夏季】

① ロープの結び方とその使い方：フィッシャーマンズ・ノット、8 の字結び、プルージック(フリクションヒッチ)、クローブ・ヒッチ、ムンター・ヒッチ（イタリアン・ヒッチ）
② ハーネスへの結束
③ アンカー・システムの構築
④ ビレイ（確保）
⑤ 懸垂下降（下降器とプルージック（(フリクションヒッチ)）を用いて）
⑥ プルージック（フリクションヒッチ）を使った固定ロープの登り返し
⑦ UIAA グレード 3 の岩場のフォローでのクライミング
⑧ ヘリコプター救助のための着陸地点の準備
⑨ 地上から空中へのハンド・シグナル

【冬季】

① アイゼンを使った氷河歩行（氷上歩行）
② 雪と氷に適した様々なテクニックを使ったビレイ
③ グレード WI2（Consistent 60 degree ice with possible bulges; good protection）のクライミング
④ 簡単なプーリーシステムを含む即席のクレバスレスキュー
⑤ 雪崩ビーコンとプローブを使って埋もれた雪崩犠牲者の位置の特定、掘り出し、シェルターの構築

- **ナビゲーション**

① 地形図、高度計、コンパス、GPS を使用し、正確な位置確認とナビゲーション

これまでのプログラム改定履歴

1) 2012 年の改訂点

2010 年 5 月にスタートした日本登山医学会の Diploma in Mountain Medicine は、certificate にあるように、2007 年の UIAA/ISMM/ICAR 合同会議（スコットランド Aviemore で開催）で定められた regulation に則り作成されて開始しました。

2010 年の合同会議（ペルーArequipa で開催）で新たな regulation が採択されたことを受けて、日本登山医学会のプログラムも 2012 年度からは新 regulation に基づき、さらに、それまでの2年間の実績を踏まえて、以下のように改訂し、2012 年エントリー者から適用しました。

① 「実践山岳外傷学」クラスタを新設しました。

② 「高所」「低体温症」「凍傷」に関する講義・実習時間を増加させました。

③ 「遠征・野外活動医学コース（40 時間）」を国際的に対応するよう「高所登山トレッキング医学・山岳救助実践クラスタ（12 時間）」として改組しました。

④ 札幌クラスタについて、エントリー者以外の会員の聴講を認めました。

2) 2015 年の改訂点

2014 年 ISMM 会議（イタリア Borzano で開催）で新たな regulation が採択されたことを踏まえて、以下のようにプログラムを改訂し、2016 年エントリー者から適用しました。

① 「感染制御と水の安全」、「医学研究の実行」「山中での情報伝達技術」、「スポーツと薬物使用を含む倫理学」の理論、実習、ワークショップを追加しました。

② 「高所と高所障害」、「実践外傷学」、「野外での麻酔」、「既往疾患の影響」、「旅行医学」、「夏期および冬期の登山技術」、「即興の救助技術導入編」、「即興の救助技術の実演実習」、「組織救助」に関する講義・実習時間を増加させました。

3) 2017 年の改訂点

冬期登山技術経験が不足しているエントリー者に対しての任意講習が非公式に設定されていたこと等を踏まえ、以下のように改訂しました。

① 冬期登山技術実技講習を任意参加プログラムとして新設しました。

② すべての講座について、エントリー者以外の会員の受講を認めました。

4) 2018 年の改訂点

これまでの 3 回の改訂とクラスタ開催場所の変更、分割実施している同種のシラバスの内容の重複等を整理する必要が生じていたこと、実習場所での座学について、十分な資料の供給が困難なこと等を踏まえ、以下のように改訂しました。

① 座学を夏山、冬山、一般の 3 クラスタに再編。夏山検定、冬山検定とは別に夏山演習、冬山演習を設定しました。

② 多岐にわたる分野で講師が多数必要な座学クラスタと、ガイド協会からの派遣ガイドが多数必要な検定、演習クラスタを明確に区分し、実施場所も座学は東京または大阪、検定、演習は登山研究所または八ヶ岳に整理しました。

③ クラスタ間でシラバスの一部移動があったため、部分的な受講を必要とするエントリー者については個別に調整しました。

④ 会計事務体制の変更にともない、経費と受講料の設定をクラスタ単位ではなく山岳医事務局での一元的実施に変更。会費未納者等に対して厳正な対応を開始しました。

5) 2020 年の改訂点

① プログラム履修時間数および内容を DiMM Regulation 2019 に即した内容に調整しました。また、DiMM Regulation 2019 で導入することとされた eLearning については順次制作し、完成した講義から提供する予定です。

② 受講対象者を医師、看護師、救急救命士に限定しました。

③ 日本登山医学会国内認定山岳医・山岳看護師の廃止と、移行措置について記載しました。

④ 授与するアワードについて、Diploma in Mountain Medicine に統一しました。

⑤ 新型コロナウイルス感染症に対応する内容に一部内容を修正しました。

⑥ 日本登山医学会専門医（看護師）制度および国内認定資格等々に関する移行措置について追記しました。

6) 2021 年の改定

① クラスタ名称を廃止し、“講習”、“検定”に統一しました。

② 講習、実技日程、単位数の記載を変更（2021/6/22）

7) 2022 年の改定

① 講習、実技日程、単位数の記載を変更（2022/1/16）

② 冬山検定日程を追記（2022/11/17）

8) 2023 年の改定

① 講習、実技日程の記載を更新（2023/2/1）

② 講習会受講条件を変更（2023/2/1）

③ Diploma in Mountain Medicine 付与後の通称名についての追記（2023/2/1）

9) 2024 年の改定（2024/2/24）

① 概要に、エントリーから 5 年を過ぎた場合の準拠プログラムについて追記

② 概要に、資格更新およびプログラムの入替、年度の考え方について追記

③ 募集期間を新たに設定

④ 講習、実技日程、プログラム名の記載を更新

⑤ 旧制度を履修中の場合の移行特例措置についての記載を削除

⑥ 資格認定後に使用可能な名称についての記載を削除

⑦ 積雪状態および冬期温暖化を考慮した開催地変更に伴うプログラムの入替

⑧ コースとしていた表記を受講資格として独立して表記し、学生についての記述の削除

⑨ DiMM 資格認定についての情報の整理

⑩ 受講に必要な最低限の登山技術を更新

10) 2025 年の改訂

① 講習、実技日程を更新

② プログラム表の記載要領・時間を更新

③ 概要の情報を一部改訂

一般社団法人日本登山医学会　会員各位

2020 年 12 月 16 日
一般社団法人日本登山医学会
専門制度委員会委員長　草鹿　元
DiMM 運営委員会委員長　榊原嘉彦

日本登山医学会認定山岳医・山岳看護師から DiMM（Diploma in Mountain Medicine）への移行に関する特例措置についてのお知らせ

日本登山医学会認定山岳医・山岳看護師（いわゆる国内山岳医・山岳看護師）については、2020 年度以降、新規の受講登録受付けを終了しています。
すでに国内認定を受けている方のうち、DiMM（Diploma in Mountain Medicine）への移行を希望する方については以下のとおり特例措置を実施します。

【DiMM への移行希望者への特例措置】

日本登山医学会認定山岳医・山岳看護師の認定を受けている者については、2025 年度末までに、DiMM 講習会のうち夏山検定・冬山検定・雪崩ビーコン検定を受講し、DiMM 認定基準で合格すれば、DiMM と認定します。

以上

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う

認定山岳医山岳看護師/DiMM 制度についての特例措置

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う講習会中止のため、下記のように特例措置を実施することになりましたのでお知らせいたします。

記

認定山岳医山岳看護師/DiMM 制度では、5 年以内にすべての講習を受講し合格することとなっています。2015 年度～2020 年度より受講開始した方については、この期限を 1 年間延長し 6 年以内に受講し合格することとします。

【現状】

2015 年度より受講開始　→　2019 年度末までに受講、合格すること
2016 年度より受講開始　→　2020 年度末までに受講、合格すること
2017 年度より受講開始　→　2021 年度末までに受講、合格すること
2018 年度より受講開始　→　2022 年度末までに受講、合格すること
2019 年度より受講開始　→　2023 年度末までに受講、合格すること
2020 年度より受講開始　→　2024 年度末までに受講、合格すること

【特例措置】

2015 年度より受講開始　→　2020 年度末までに受講、合格すること
2016 年度より受講開始　→　2021 年度末までに受講、合格すること
2017 年度より受講開始　→　2022 年度末までに受講、合格すること
2018 年度より受講開始　→　2023 年度末までに受講、合格すること
2019 年度より受講開始　→　2024 年度末までに受講、合格すること
2020 年度より受講開始　→　2025 年度末までに受講、合格すること

以上

2020 年 11 月 10 日
一般社団法人日本登山医学会
認定山岳医委員会委員長　草鹿元

一般社団法人日本登山医学会 DiMM 運営委員会

〒101-0034 東京都千代田区神田東紺屋町 36 サンハイツ神田北村ビル 507 号室

e-mail: dimm01@jsmmed.org